

ベトナムにおける日本製品の投資機会について

岡山県ベトナムビジネスサポートデスク (I-GLOCAL NGUYEN THI HONG NHUNG)

1. はじめに

高い経済成長を続けるベトナムにおいて、年々国内の所得水準が上昇するに伴い、日用品や生活家電など、品質が高い製品への需要が高まってきている。なかでも、日本製品はその安全性の高さや品質の良さからベトナム人にも人気が高く、国内の消費力の向上とともに、今後、ベトナム国内での日本製品に対する注目は更に集まっていくとみられている。そこで本稿では、ベトナム人が日本製品を好む理由と、日本企業の投資機会について考察する。

2.1 ベトナム人が日本製品を好む理由

ベトナムでは昔から、自動車、オートバイ、テレビ、冷蔵庫、洗濯機などの高価格製品は日本製が人気であり、日用品などの消費財についてはタイや中国製のものが多く使用されてきた。しかし、最近では日用品でも日本製品の人気が高くなってきている。例えば、食品用ラップ、まな板、スポンジなどの台所用品、おもちゃ、玩具などの子供用品、その他にも衣服、化粧品、サプリメントなど様々な日本製品を選択するベトナム人が増加している。

ベトナム人が日本製品を好む理由として、日本製品は一般的に品質が高く丈夫であることが挙げられる。日本企業は品質の高い製品を生産するために、充実した機械設備を要し、質の高い原材料を用いていることが多い。ベトナム国内だけではなく、世界的に見ても日本製品の質の良さに対する認識は高いのではないだろうか。また、安全性の面においても高い評価をされている。JETROの2019年以降におけるベトナムの消耗財の消費動向に関する調査によると、安全性の高い日本製品は今後更に人気が高くなると予測している。多くのベトナム人は禁止されている農薬や原材料の使用有無といった製品の安全性を重要視しているが、日本企業の安全性に対する基準や意識は高く、そのことからベトナムでも日本製品の安全性への信頼は厚い。

さらに、日本文化とベトナム文化の類似点は多く、ベトナム人に日本文化が浸透していることも、日本製品が選択される理由の1つになっているのではないだろうか。ベトナムでは桜祭りやお正月といった日本文化を感じる事ができるイベントが開催されており、両国間の文化交流を深めることが日本製品の人気や注目を集めるきっかけにもなっていると考えられる。

2.2 消費財分野への投資機会

日本製品への需要の高まりとともに、ベトナム国内での日系のスーパー、コンビニといった小売店舗や日本製品の専門店の進出が増加している。代表的な企業として、イオン、セブンイレブン、ファミリーマートなどが挙げられ、その他日本製品の専門店と言えば Sakuko Store などがある。こういった店舗では、化粧品、健康食品、家電製品、子供用品など日用品などの製品の需要が高くなってきている。一方で、日系のスーパーやコンビニ、日本製品の専門店は、ベトナムの地方には少なく、大半が都市部に集中している。ベトナムは高い経済成長にあり、ベトナム国内の所得や生活水準が向上し、高価な日本製の製品や食品への消費が高くなってきているものの、地方においてはこういった需要に追い付いていないのが現状である。

投資環境としては、近年、環太平洋パートナーシップ協定（TTP）の締結により、関税やサービス、投資分野での自由化が進められ、また、ベトナム国内における土地使用税や法人税等の優遇税制措置や外資規制の緩和などもあり、以前に比べて外国人投資家のベトナムへの投資のハードルが下がっている。さらに、東南アジア圏でも治安が良くインフラも比較的整備されている事も、投資家にとっては魅力的なポイントである。

3. おわりに

以上のように、日本製品の需要は今後更に高まっていくと考えられることから、日本企業にとってベトナム投資の潜在的な機会は多く、若い労働力を確保できるベトナムは投資先としても魅力的ではないだろうか。今後は都市部だけでなく、地方においても日本製品の消費需要は高まる見込みであり、ベトナム国内における消費動向にも注目していく必要がある。

4. 参考文献

1. <https://vietnamnet.vn/vn/kinh-doanh/giai-ma-con-sot-tieu-dung-hang-nhat-noi-dia-521946.html>
（「2019年4月 日本製品の消費」）
2. <http://thoibaonganhang.vn/nguoi-viet-tang-tieu-dung-hang-nhat-76546.html>
（「2019年4月 ベトナム人の日本製品の消費増加」）
3. <https://bnews.vn/hang-nhat-chuyen-huong-canh-tranh-tai-thi-truong-viet/105417.html>

(「2018年12月 日本の製品のベトナム市場への参入」)

4. <https://vnexpress.net/kinh-doanh/hang-tieu-dung-nhat-tiep-can-thi-truong-viet-nam-3852559.html>

(「2018年12月 日本製品とベトナムの市場」)

5. <http://thoibaonganhang.vn/doanh-nghiep-nhat-dua-hang-vao-viet-nam-83089.html>

(「2018年12月 日本製品のベトナムへの輸入」)

【岡山県ベトナム・カンボジアビジネスサポートデスク】

<<日本国内デスク (株式会社 I-GLOCAL 内) >>

【所在地】 : 東京都中央区銀座1丁目18番2号辰ビル7F

【担当者】 : 鎌塚 麻由子 (かまづか まゆこ)

<<ベトナム/ホーチミン現地デスク (I-GLOCAL ホーチミン事務所内) >>

【所在地】 : 14th Floor, TNR Tower, 180-192 Nguyen Cong Tru Street, District 1, Ho Chi Minh City

【担当者】 : 本庄谷 由紀 (ほんじょうや ゆき)

<<ベトナム/ハノイ現地デスク (I-GLOCAL ハノイ事務所内) >>

【所在地】 : Room 1206, 12th Floor, Indochina Plaza Ha Noi Tower , 241 Xuan Thuy Street, Cau Giay District., Ha Noi,

【担当者】 : 牛尾 俊介 (うしお しゅんすけ)

<<カンボジア現地デスク (I-GLOCAL カンボジア事務所内) >>

【所在地】 : 13th Floor, Phnom Penh Tower, #445, Monivong Blve (St.93/232), Sangkat Boeung Pralit, Khan 7 Makara, Phnom Penh

【担当者】 : Mak Brathna(マク・ブラタナ)

※ デスクのご利用にあたっては、「岡山県ベトナム・カンボジアビジネスサポートデスク」利用の手引きをご覧のうえ、まずは岡山県産業企画課マーケティング推進室(086-226-7365)までご相談ください。